

中学校	国語	3年
-----	----	----

書写学習と「話すこと・聞くこと」領域の学習を関連させた中学校国語授業アイデア
 「私の好きな言葉・大切な言葉」

- 単元名「私の好きな言葉・大切にしている言葉」
 (中学3年生の3学期に特設単元として設定)



(座右の銘・漢字一字・四字熟語・詩(歌詞)の一部・人から言われた言葉など)

- 自分の好きな言葉・大切にしている言葉を、色紙に毛筆で表現させる。

指導事項：第3学年書写「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くこと。」

※三年間の書写学習を踏まえ「その言葉にあった字体・字の大きさ・配置・文字の中心バランス・余白など」に注意して、表現させる。

※構想を練るための用紙でアイディアスケッチをさせた後、半紙を色紙の大きさに切って練習させ色紙に清書させる。生徒自身が字体を調べられるよう、字体辞典や資料を準備しておく。

※美術の授業で制作した「落款」を押させ作品を完成させる。(落款を押すことで作品として風格が増すとともに、美術で制作した作品に対する愛着も増す。)

- 次に、その言葉が好きだったり大切だったりする理由や、その言葉との出会い(いつ誰から言われたのか、どんなの詩の一節なのかなど)について、作品を見せながら、3分間スピーチをさせる。

指導事項：第3学年話すこと・聞くことア「社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。」

※事前にスピーチメモを作らせる。聞く側も「一言カード」を書きながら聞かせ、「一言カード」は発表後に本人に渡す。

※時間を1分にする、スピーチ原稿を作らせる、メモも書かせないなど、生徒の実態や教師のねらいによって、アレンジすることも可能である。

※別の展開として、作品を教室や廊下などに展示し、互いの作品を鑑賞し批評するということも可能。その際、表現の工夫に注意しながら、作品の良さを中心に評価させる。

この場合は、「読むこと領域」の学習となる。